

国立大学法人新潟大学 医歯学総合病院再開発整備について



新潟大学施設管理部
平成 26 年 5 月

新潟大学医歯学総合病院の概要

○理念・目標

【理念】

生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します

【目標】

- ・ 患者本位の安全で安心できる医療を提供します
- ・ 豊かな人間性と高い倫理性を備えた質の高い医療人を育成します
- ・ 研究成果を反映した高度で先進的な医療を実践します
- ・ 地域連携を推進するとともに地域の医療水準の向上に貢献します
- ・ 病院運営の適正化と効率化を促進します

○病院概要

所在地：新潟市中央区旭町通1番町754番地
開院：平成15年10月
診療科数：33診療科（医科29科，歯科4科）
病床数：825床（稼働率 89.59%）
外来患者数：2,262名（1日平均）
入院患者数：739名（1日平均）
手術件数：7,035件（年間）

※平成25年の実績データです。

新潟医歯学総合病院とは

平成15年10月1日に、医学と歯学の両面からの緊密な連携による全人的医療の充実と、今後の医療ニーズと多くの課題に的確に対応することを目指し、医学部附属病院と歯学部附属病院が統合しました。

医歯学総合病院の施設概要

○施設概要

- 敷地面積： 74,642 m²
建築面積： 19,597 m²
延床面積： 108,195 m²
構造： 病棟（鉄骨造 地下1階地上12階建）
外来診療棟（鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建）
中央診療棟（鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階建）
その他（鉄筋コンクリート造）
※外来診療棟，中央診療棟は免震構造です。



医歯学総合病院再開発の概要

○再開発の経緯

- 平成4年1月 将来計画委員会を開催
「旭町地区再開発整備計画策定について」合意
- 5年2月 「旭町キャンパスの再開発整備計画基本構想(案)」
を作成
- 5年5月 旭町地区将来計画委員会を設置
- 6年3月 施設整備委員会において「旭町団地再開発ゾーニ
ング計画」決定
- 6年3月 評議会において「旭町地区再開発の施設整備基本
方針」決定
- 7年8月 「医学部附属病院再開発整備計画」文部省了承
- 9年9月 「新潟大学医学部附属病院施設長期計画」
国立学校施設計画連絡協議会了承
- 10年3月 医学部附属病院病棟Ⅰ期着工 (H12年10月完成)
- 15年3月 医学部附属病院病棟Ⅱ期着工 (H17年8月完成)
- 19年1月 医歯学総合病院中央診療棟着工 (H21年4月完成)
- 22年1月 医歯学総合病院外来診療棟着工 (H24年4月完成)

平成24年11月 外来診療棟が開院し15年にわたる
再開発整備が完了しました。

○再開発計画の基本方針

先端的医療環境を構築し、地域医療に貢献する。

これを実現するため、次の方針により現状の施設の問題点を改善、整備する。

◇患者のための病院環境づくり

- ・施設・設備を集中化し、患者や医療スタッフの動線の最適化
- ・患者のためのアメニティ空間を整備

◇高度先進医療の実践をサポートする高機能病院

- ・地域における救急医療の使命を果たすことを目的とした、高次救命・災害治療センターの設置への対応
- ・自家発電設備のピークカットの採用により契約電力を抑制
- ・中央監視設備の終日により最適制御及び予防保全の徹底

◇教育環境の充実

- ・施設・設備を集中化し、患者や医療スタッフの動線の最適化
- ・卒後臨床医のためのスペースを確保

◇災害対応の充実

- ・災害時における救急医療スペースを整備
- ・免震構造の採用（地震時の安全対策）
- ・自家発電設備の充実
- ・井水利用による生活水の確保
- ・特高受変電設備の2回線受電による信頼性の向上

○再開発整備における特徴

◇機能面（病院）

- ・ 外来診療棟完成に伴い医歯統合による診療体制の充実
- ・ 患者、病院スタッフ動線の分離による患者さんへの配慮
- ・ ドクターヘリポート設置，基地病院として地域の救急救命医療の充実・発展
- ・ アメニティーモール整備，路線バス乗り入れによる患者サービスの充実
- ・ 物品・医療機材などの中央供給方式

◇機能面（教育）

- ・ 教育環境の充実（ベッドサイドティーチングスペースの確保）
- ・ 症例検討・研修室の設置

◇施設面

- ・ 自家発電設備のコ・ジェネの採用により契約電力を抑制
- ・ 屋上緑化などの採用による地球環境への配慮

◇その他

- ・ 災害対応の充実
（免震構造の採用，自家発電設備の充実，井水利用による生活用水の確保，災害関連物品の集約化）

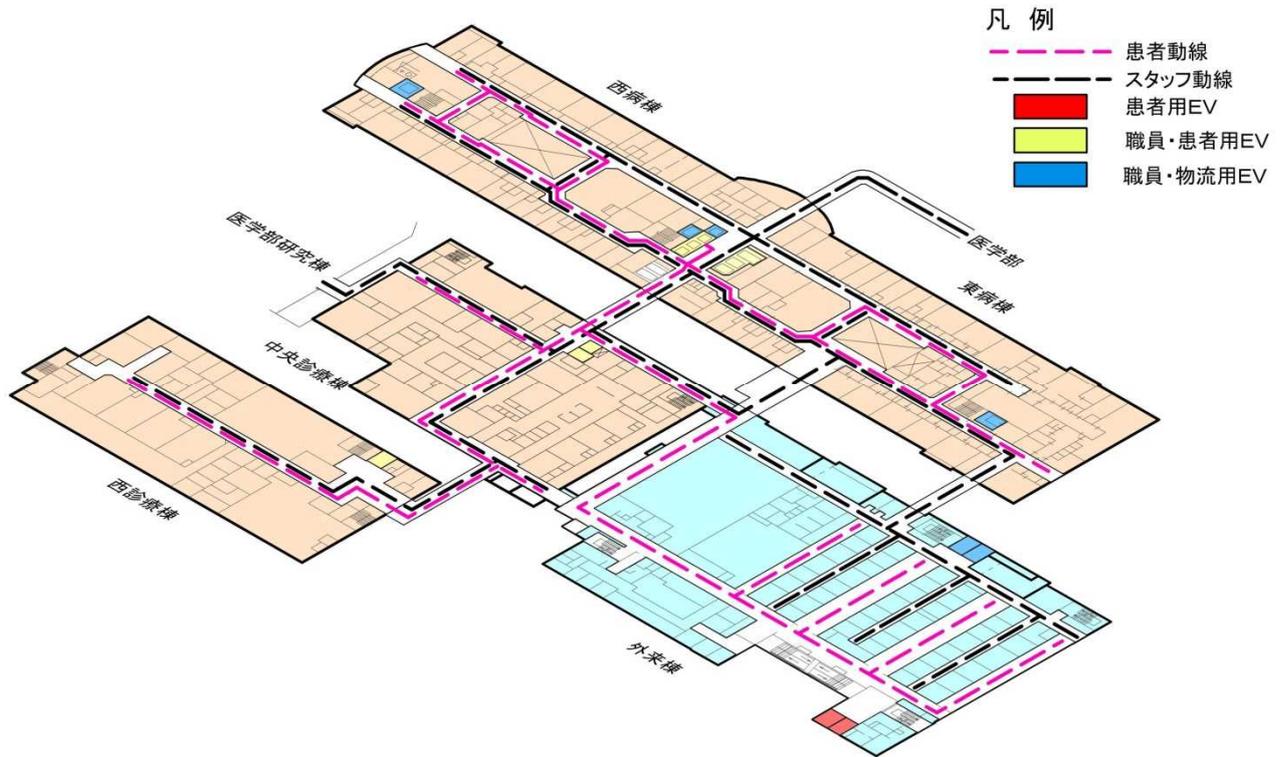


外来診療機能



【再開発計画における動線計画】

◇患者・医療スタッフ動線の最適化

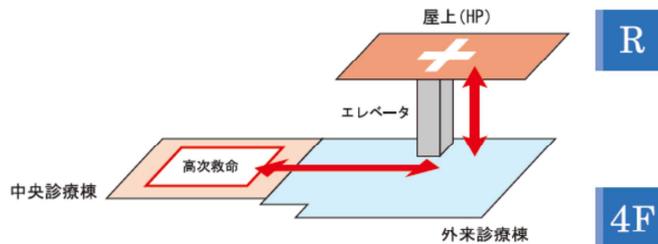


◇患者動線のへ配慮

病棟、中央診療棟、外来診療棟がコンパクトにまとまり、動線が短くなりました

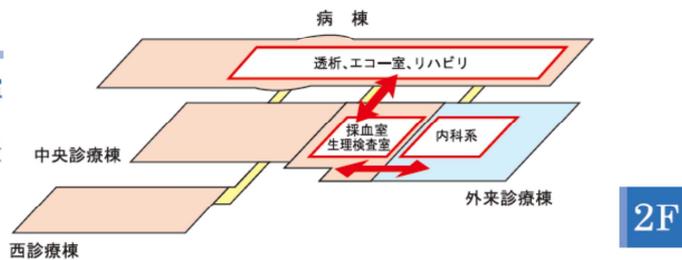
4F

屋上ヘリポートから直通
エレベータで4Fに降り、横移動で高次
救命災害治療センターへ搬送可能



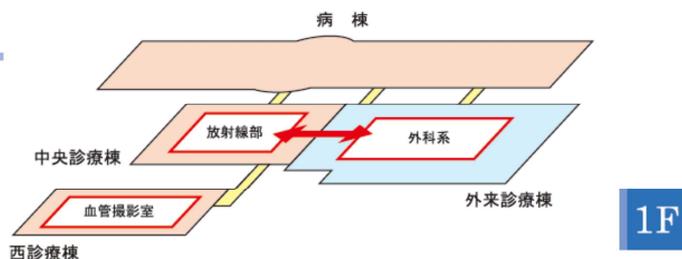
2F

内科系診察室と中央採血室・生理検査室
を隣接配置
また、病棟の透析、エコー室と同じ階に配置



1F

外科系の診察室を中央診療棟放射線部、
西診療棟血管撮影室と同じ階に配置



【外来診療棟における患者さんへの配慮】

≫各診察室に手洗いを設置し、感染防止に配慮



A

A



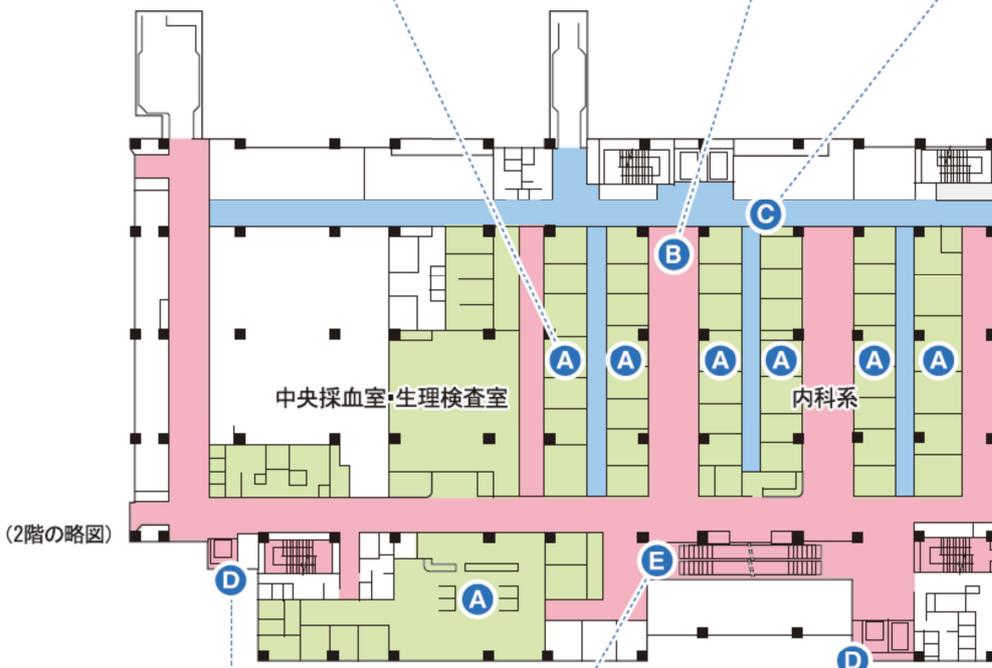
患者通路・待合

≫患者動線とスタッフ動線の分離

患者動線 B スタッフ動線 C



スタッフ通路



(2階の略図)

D

A

E

D



D



E



≫障害のある方への配慮

エレベータ3基とエスカレータを機能的に配置

≫救命救急体制の充実

新潟県からドクターヘリ基地病院の要請を受け、
平成24年10月30日からドクターヘリの本格運航を開始

今後の課題

◇病棟・診療棟

- ・次期整備に向けた検討
（第Ⅰ期（西病棟）完成からすでに13年経過）
- ・手術件数増加による手術室不足への対応検討

◇インフラ整備

- ・設備機器の老朽対策
- ・周辺道路の渋滞緩和
- ・患者用及び職員用駐車場の確保

◇機能強化

- ・医療の発展に伴う拡張スペースへの確保

